

明日へつながる、未来へつながる

大野油坂道路／勝原IC付近（大野向き）



大野油坂道路

○九頭竜IC～油坂出入口
令和11年春 開通予定

中部縦貫自動車道

CHUBU JUKAN EXPRESSWAY

大野油坂道路／九頭竜IC

大野油坂道路／箱ヶ瀬東高架橋



中部縦貫自動車道 概要

国土交通省では、昭和62年6月の道路審議会答申に基づき、約14,000kmの高規格幹線道路網計画を決定しました。高規格幹線道路とは、自動車の高速交通の確保を図るために必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路をいいます。

中部縦貫自動車道は、この高規格幹線道路網の一翼を担い、長野県松本市を起点に飛騨、美濃、奥越地方の険しい山岳地帯を通り、福井市に至る延長約160km（東海北陸自動車道との重複区間約40kmを除く）の一般国道の自動車専用道路です。

現在、国土交通省の公共事業によって整備が進められており、開通後の県内区間は無料で供用されます。

位置図



凡	例
	高速自動車国道供用区間
	中部縦貫自動車道供用区間
	中部縦貫自動車道整備計画区間
	中部縦貫自動車道基本計画区間
	一般国道自動車専用道路供用区間
	一般国道自動車専用道路未供用区間

中部縦貫自動車道の整備状況

道路名	1	2	3	4	5	6	7	8
	永平寺大野道路	大野油坂道路	油坂峠道路	東海北陸自動車道	高山清見道路	高山東道路	安房峠道路	松本波田道路
区間名	福井北JCT・IC 永平寺参道IC	大野IC 荒島IC 九頭竜IC	油坂出入口 白鳥西IC 白鳥IC	飛騨清見IC 丹生川IC	平湯IC 中ノ湯	波田IC 松本JCT		
距離(km)	4 22.4	5.5 14 15.5	8.2 3.2	41.4	24.7 23	5.6 27	5.3	
基本計画	H2.11 H1.8	H9.2 H9.2 H9.2	H1.8 H1.8	S48.11	H1.8 H9.2	H1.8 H9.2	H3.12	
整備計画	H5.7 H2.11	H27.4 H21.3 H24.4	H1.8 H2.11	S61.1 (白鳥～荘川) H1.3 (荘川～福光間) H24.4 四車線化	H5.7 R6.3 (久手～平湯間)	H1.8	H12.4	
概要	松岡～永平寺参道間 1.8km供用開始 (H5.6.1) 福井北～松岡間 2.2km供用開始 (H27.3.1)	永平寺参道～永平寺間 1.4km供用開始 (H19.3.17) 上志比～勝山間 7.9km供用開始 (H21.3.28) 勝山～大野間 7.8km供用開始 (H25.3.24) 永平寺～上志比間 5.3km供用開始 (H29.7.8)	大野～勝原間 10.0km供用開始 (R5.3.19) 勝原～九頭竜間 9.5km供用開始 (R5.10.28)	令和11年春 供用予定 S62.11.18 一部(2km) H11.4.26 供用開始	H11.11.1 供用開始 白鳥～荘川間 21.9km供用開始 (H11.11.27) 荘川～飛騨清見間 19.5km供用開始 (H12.10.7)	飛騨清見～高山西間 8.7km供用開始 (H16.11.27) 高山西～高山間 6.5km供用開始 (H19.9.29)	H9.12.6 供用開始	

中部縦貫自動車道の整備効果①

北陸圏、関東圏、中京圏、関西圏を結ぶ広域ネットワークの構築

本県と関東圏を最短距離で結び、北陸圏、関東圏、中京圏、関西圏を結ぶ広域ネットワークを構築します。

◆移動時間・距離の短縮

県内の各都市からの移動時間・距離が短縮します。

【福井～東京】

整備前 6時間37分 (520km) → **整備後** 5時間47分 (429km)
(北陸自動車道 米原JCT経由)

【福井～松本】

整備前 5時間06分 (244km) → **整備後** 3時間05分 (213km)
(東海北陸自動車道 白鳥IC経由)

【大野～名古屋】

整備前 2時間30分 (156km) → **整備後** 2時間10分 (146km)
(東海北陸自動車道 白鳥IC経由)



地域経済の活性化 ～企業立地の促進・観光客の増加～

隣県・大都市へのアクセス向上により、安定した物流ルートや新たな周遊観光ルートの構築が図られます。

◆企業立地の促進と市場の拡大

安定した物流ルートの構築により、企業立地の促進や市場の拡大が図られ、雇用の拡大につながります。

- 大野油坂道路が事業化された平成21年3月以降、沿線市町には22企業(雇用人数約580人)が進出・事業拡大
- 荒島IC付近では産業団地(大野市富田産業団地)の分譲が開始され、令和6年度までに6区画のうち4区画が分譲済



大野油坂道路事業化以降に進出した企業

- 大野市7社
- 勝山市1社
- 永平寺町4社
- 福井市10社

◆観光客の誘致促進・増加

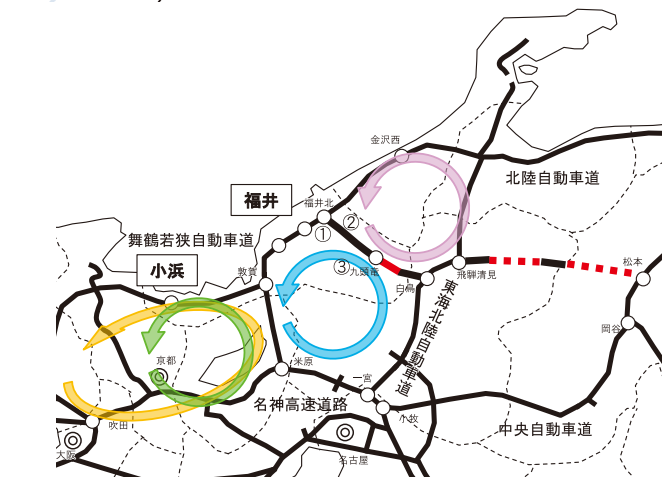
新たな周遊観光ルートの構築により、観光客の誘致促進・増加が見込まれます。

令和6年3月の北陸新幹線福井開業と、中部縦貫自動車道の県内全線開通で、金沢・岐阜なども含めた広域観光が容易になります。

中部縦貫自動車道沿いの観光拠点の開発が進み、近年オープンした道の駅(越前おおの 荒島の郷 など)を情報拠点とした各観光地への周遊の促進が期待できます。

- 平成29年の永平寺大野道路全線開通により、沿線市町の観光入込数が飛躍的に増加(大野市、勝山市、永平寺町の観光入込客数 H20: 約359万人 → R元: 約544万人 (約52%増加))
- 令和5年の大野油坂道路の一部供用開始により、令和7年には、沿線3市町の観光入込客数は約590万人まで増加
- 中部縦貫自動車道沿線の勝山市にある福井県立恐竜博物館(※)では、令和7年に過去最高の入込客数を記録(約156万人)

※かつやま恐竜の森・野外恐竜博物館も含む



①永平寺 (写真: 大本山永平寺提供) ②福井県立恐竜博物館 ③越前大野城

中部縦貫自動車道の整備効果②

災害時における広域的な迂回路の確保

防災・減災・国土強靱化の観点から、大雨や大雪など広域に影響が及ぶ自然災害が発生した際は広域的な迂回路として機能します。

(事例) 令和6年1月大雪

- 北陸自動車道、国道8号等が通行止め
- 中部縦貫自動車道、国道158号が広域迂回路として機能



地域生活の安全・安心の確保

嶺北地方東西の基幹交通網の構築により、地域生活の安全・安心が確保されます。

◆医療機関へのアクセス向上

奥越地方から福井市周辺に立地する福井県立病院など高次医療機関までの搬送時間が短縮され、医療サービスの向上が図られます。

◆安全・安心な交通ルートの確保

現道の国道158号は、雪や事故のため、たびたび通行止が発生しています。また、カーブ・屈折区間等が多く、事故割合が高くなっています。

中部縦貫自動車道は、トンネルや橋梁が多いため、雪の影響を受けにくく、道路の形状も良いことから、安全・安心な交通ルートが確保されます。



福井県: はびりゅう



福井市: 福いいネ!<ん



永平寺町: えい坊くん



勝山市: チャマゴン・チャマリン



大野市: うくビー・うめビー

中部縦貫自動車道の早期開通を目指します

福井県

お問合せ: 〒910-8580 福井市大手3-17-1 福井県土木部高規格道路課
TEL(0776)20-0475 / FAX(0776)20-0658/E-mail kokikakudo@pref.fukui.lg.jp

白山市

JAM福井勝山マウンテンリゾート



R8年4月リブランドオープン

おお の あぶら さか
大 野 油 坂 道 路 L=35.0km

国道158号の課題

① 大野市仏原の雪崩（H30.2-3）



2 大野市上半原における斜面崩壊 (R7.3-7)



道の駅
「桜の郷荘川」

莊川一C

高山市

ひるがの高原
スマートIC



電車道

二野

二野

撮影：小澤達矢

ひるがの高原 牧歌の里

芳野ヶ原 勝山市



平泉寺白山神社

平泉寺
白山神社

R7年7月オープン



SORA to DAICHI

SORA to DAICHI
(キャンプ場)

大野IC～勝原IC間 L=10.0km

令和5年3月19日開通

勝原IC^{かどはら}～九頭竜IC^{くすりゅう}間 L=9.5km

令和5年10月28日開通

令和11年春開通予定 L=15.5km

福井県

中部縦貫自動車道

岐阜県

きふ大和

至一宮

凡例

● 主な観光地

Page 10 of 10

高速自動車国道間
高供 自 用 区 間

中部縦貫自動車道
整備計画区間

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）及び数値地図50mメッシュ（標高）を使用した。（承認番号）平22業使、第585号

0 5 km 10 km

